

2026 年度 事業計画

前期方針を参考として 2026 年度の事業計画を下記の通り設定した。

1. 委員会活動の充実
2. 教育研修を目的とする諸活動の充実
3. Regulatory Science への寄与
4. 本部との連携強化と活動への積極参加
5. 新規事業の創出

委員会活動の充実については委員会活動をさらに活発化させるために、委員長会議の場で、現在の委員会活動においてのテーマや内容について御調査、御協議をいただき、新たなテーマ設定や新規委員会の立ちあげの要否などについての御提言をいただく。
また、各委員会に共通するテーマの抽出をお願いし、委員会統廃合も視野に入れた新たな委員会活動の参考としていく。

教育研修を目的とする諸活動の充実については、長年にわたり RS 財団と共同開催を実施してきた研修講座の継続について、諸般の事情から日本 P D A 単独で開催する方向で見直しを図るとともに、本部との連携も図りながらテクニカルレポートの積極的な翻訳をおこない、翻訳版を教材とする研修講座を計画する等の新規事業の創出を図っていく。

本部との連携強化と活動への積極参加についても 2026 年度も積極的に実施し、共催事業の継続を図るとともに新規の連携についても検討していく。

以上来年度の事業計画に基づく具体的な事業としては以下を計画している。

委員会名	行事名（仮）	開催時期
開発 QA 委員会	開発 QA 委員会 研究成果報告会	1 月 30 日
教育システム委員会	組織計画的に中間管理職を育成する仕組みづくり -医薬品業界の特性をふまえて-	2 月 27 日
ER/ES 委員会	医薬品製造分野で AI を業務で活用するための実践ワークショップ	3 月
無菌製品 GMP 委員会	2026 年度 無菌医薬品 GMP 研修講座	5 月
	PIC/S GMP Annex 1 ワークショップ	6、7、9、10 月
	第 3 回無菌シンポジウム	11 月
	注射剤不溶性異物目視検査制度の監督者向け情報交流会	未定
技術教育委員会	研究成果報告会	7 月

原薬 GMP 委員会	医薬品(原薬)GMP 研修講座	8 月
メディカルデバイス委員会	コンビネーション製品セミナー 2026	9 月
北陸勉強会	第 16 回富山県 GMP 講演会？	11 月
年会委員会	第 33 回年会	11～12 月
本部共催 無菌製品 GMP 委員会	PDA 細胞及び遺伝子医薬討論会 2025	時期未定

新規事業としての注射剤不溶性異物目視検査認定制度については、監督者の教育訓練が終了次第、検査員の教育・訓練及び目視検査の実施を促進していく。